

表4 NOSGER 評価者間信頼性 (下位尺度)

N = 27

NOSGER	看護師と介護福祉士			
	Spearman's 相関係数	完全一致率 (%)	不一致率 (%)	Cronbach's α 係数
記憶	0.888***	85.1	0	0.929***
道具を用いる日常行動	0.807***	74.0	0	0.947***
セルフケア	0.771***	66.6	0	0.933***
感情	0.681***	59.2	0	0.905***
社会的活動	0.694***	62.9	0	0.854***
行動障害	0.597***	55.5	0	0.682**
下位尺度全体	0.915***	88.8	0	0.955***

** $p < .01$, *** $p < .001$

いずれも下位尺度項目では、感情と行動障害の項目が低い値を示した。他の項目については、0.296~0.686の範囲を分布し、中等度から相当高い値を示した。Spearman相関係数、 α 係数については、 κ 係数同様、以下の2つの項目は、ともに低い値を示し、「機嫌がよさそうである」はSpearman相関係数0.075、 α 係数0.150であり、「むなしさを訴える」はSpearman相関係数0.455、 α 係数0.606であった。一方、最も高い値を示した項目は「ひとつの趣味を続けている」で κ 指数0.686、Spearman相関係数0.941、 α 係数0.969であった。次にNOSGER下位尺度間において、一致率を検討した。全対象者(27人)を3群に分け、職種間の完全一致率と不完全一致率をみた。結果を表4に示した。Spearman相関係数は r_s 0.597~0.888を示した。完全一致率は55~85%であった。不一致率は、いずれも0%であった。 α 係数は、行動障害が最も低く0.682であり、他の下位尺度は0.905~0.955と高い内的整合性を示した。

Ⅲ. 考 察

本研究は、日本人認知症高齢者を対象とした初めての調査であり、客観的な行動観察スケールとして重要な検討であると考え、今回の結果から本尺度は、看護師・介護福祉士の評価者間テストにおいては、下位尺度ごとのSpearman相関係数、 α 係数、一致率から内的整合性に満足できる成績が得られたものの、各30項目における κ 係数の

結果(表3)からは、いくつかの項目に低い一致率もみられた。そのため原文を再度確認し、コンテンツをまとめた(表5)。項目のなかで最も低い一致率を示した項目「機嫌がよさそうである」は、機嫌を表す行為に個人差があることや、看護師と介護福祉士では接触する密度から自分の気持ちをだす度合いに差もあることも考えられる。また機嫌をどのようにとらえるかによっても異なり、原文からは楽しい表情(にこやか)を表す頻度を示していることから、具体的な行為を含む質問内容のほうが評価しやすいと考えられる。

また項目「むなしさを訴える」は、言語能力や発語の多少にかかわらず、相手によって訴えを変えることも考えられる。さらに項目「夜間は落ち着かない」は受け取り方にも個人差があり、落ち着かないという行為がわかりにくいことも考えられる。項目「排便はコントロールできる」については、グループホームの入居者の割合が多く比較的自立している人も多いことから、コントロールの意味を排便の失敗のみでなく、排便の有無や便の回数や性状などまで評価してしまうことも考えられる。以上のことから、抽象性が高い項目に一致率が相対的に低いことが指摘された。また低い不一致率を示したいくつかの項目については、評価者が質問内容を読み取ることがむずかしいことも示された。これらの不一致が示された項目については、原文の意図する内容を再度確認し、改善する余地が残された。より信頼性を高めるには、評

表5 NOSGER 質問項目コンテンツ

	質問項目		コンテンツ
	原文	訳	
1	Shaves or puts on makeup, combs hair without help.	ひげ剃りまたは化粧、整髪が一人でできる	特記せず
2	Follows favorite radio or TV programmes.	好みのラジオ・テレビ番組を理解する	好みの番組があり、時間の把握があり、積極的に視聴する(チャンネルを変える、または、変えてほしいという意味表示)の頻度
3	Reports he / she feels sad.	悲哀感を訴える	「悲しい」「淋しい」「つらい」等の訴えの頻度
4	Is restless during the night.	夜間は落ち着かない	夜間に睡眠をとらず、動き回ったり(徘徊、片付けをする等)、落ち着かない様子(眠れないという訴え、ナースコール)のある頻度
5	Is interested in what is going on around him / her.	周囲の出来事に関心を示す	新聞等のメディアを視聴したり、ニュース(社会問題、スポーツ等)を話題にする頻度
6	Tries to keep his / her room tidy.	自室をきれいに保とうとする	掃除、洋服の整頓、ごみの始末などの作業頻度
7	Is able to control bowels.	排便はコントロールできる	失禁の頻度
8	Remembers a point in conversation after interruption.	中断後も会話の内容を覚えている	会話中に席をはずし(トイレ、他者からの会話、電話等の比較的短時間の中断)、再度、会話の継続を促した場合は、内容のポイントの記憶頻度
9	Goes shopping for small items (newspaper, groceries).	簡単な買い物(新聞や食料)に出かける	特記せず
10	Reports feeling worthless.	むなしさを訴える	「死にたい」「生きていてもしょうがない」などの訴えの頻度
11	Continues with some favourite hobby.	ひとつの趣味を続けている	施設の場合は、レクリエーション、アクティビティへの参加頻度を含む
12	Repeats the same point in conversation over and over.	会話中に同じことを何回も繰り返す	特記せず
13	Appears sad or tearful.	悲しげにまたは涙ぐんで見える	一般的に悲しくない状況でないとき(食事中、入眠時等)に悲しい表情や涙を浮かべる頻度
14	Clean and tidy in appearance.	身なりが清潔できちんとしている	特記せず
15	Runs away.	施設や自宅から逃げ出す	安全装置等のため逃げ出すまで及ぶことの少ない施設等は、逃げ出そうとする行為(玄関まで行く、部屋の外に出る)や同行を含む行為の頻度
16	Remembers names of close friends.	親友の名前を覚えている	親友(親しい友人および親しかった友人)の固有の名前が会話に出てくる頻度、指示語(あの人、彼女、彼のような表現)との比較頻度
17	Helps others as far as physically able.	身体的に可能な範囲で他人の手助けをする	特記せず

表5 (つづき)

	質問項目		コンテンツ
	原文	訳	
18	Goes out inappropriately dressed.	不適切な装いで外出する	施設等で、個別で外出することがない場合は共有部を含む。また、着衣が準備されている場合は、それを脱いでしまったり、屋内で厚着をしたりする頻度
19	Is orientated when in usual surroundings.	いつもの環境では、順応している	日常生活空間で不穏でない頻度
20	When asked questions, seems quarrelsome and irritable.	質問するとイライラして不機嫌そうになる	質問に対して回答がわからないときに「わかっている」と言って回答の拒否をしたり、「なぜそのようなことを聞くのか?」「何で答えなければならないのか?」等の言葉を怒りをこめて発音する頻度
21	Makes contact with people around.	周囲の人と交流する	特記せず
22	Remembers where clothes and other things are placed.	衣類などの品物の置き場所を覚えている	外出時の靴、入浴時の脱衣場所(自分の着脱衣の置き場)等の記憶の頻度
23	Is aggressive (verbally or physically).	言葉または動作が攻撃的である	特記せず
24	Is able to control bladder function (urine).	排尿はコントロールできる	尿失禁の頻度
25	Appears to be cheerful.	機嫌がよさそうである	楽しい表情(にこやか)をする頻度
26	Maintains contact with friends or family.	友人または家族との交流を続けている	家庭生活においては家族や友人との交流(会話、訪問、電話、手紙等)、施設においては共有部で他者と断続的に交流を持つことを含む行動の頻度
27	Confuses the identity of some people with others.	ある人を別の人と勘違いする	特記せず
28	Enjoys certain events (visits, parties).	催しごと(来客やパーティ)を楽しむ	老人会や季節の催事(祭等)や施設のレクリエーションを楽しむ(積極的に活動に参加したり、楽しさを表情や言動で表現する)頻度
29	Appears friendly and positive in conversation with family members or friends.	家族または友人と親しげに会話を楽しむ	会話の内容でなく、会話を通じた交流を楽しんでいる様子の頻度
30	Behaves stubbornly, dose not follow instructions or rules.	頑固で、指示や規則に従わない	特記せず

価の際、コンテンツをまとめた手引き書を使うことも、効果的であると思われる。先行研究による評価者間テストでは、スイスのバーゼル近郊に住む在宅または入院患者 32 人に対して行われた研究 (Brunner CH, 1989, 修士論文; Brunner CH, Spiegel R, 1990)⁹⁾とカナダの 27 人の在宅患者、28 人の入院患者に対して行われた研究 (Puxty, 1988~1989, 未発表)⁹⁾がある。いずれも近親者お

よび看護師が事前訓練を受けずに評価した。スイスで行われた研究では、評価者間の下位尺度の相関係数が、「感情」(0.60)、「行動障害」(0.53)とやや低いものの、カナダで行われた研究では、0.70~0.90を示した。本研究では、看護師と介護福祉士による評価者間であり、介護福祉士は近親者とは異なるが、スイスの結果と類似し、「感情」(0.68)と「行動障害」(0.59)は他の項目よ

り低かった。これらは、感情は状態を読み取ることのむずかしさや、行動障害は、認知症であってもかならずしも現れる行動ではなく、かつ他の下位尺度より行動の変化が激しいことに由来するものと思われる。本尺度は、介護福祉士や看護者による判定結果のいくつかの項目を除き信頼性が高く、医療や介護実践の場において広く活用できることが示唆された。医療・看護・福祉の連携したケアの評価としても適応を検討できるものと思われる。本結果は、2か所のみを対象であり、結果の一般化には、限界もある。今後妥当性の検討とあわせて、日本語翻訳版の検討や家族など対象者の拡大の検討を行う予定である。

結 論

NOSGER (日本語翻訳版) の信頼性について検討した結果、いくつかの項目については、改善の余地もみられるが、全体として尺度の信頼性があり、今後の認知症高齢者の薬効評価、縦断的研究

さらに多国間での比較も視野にいれた研究に有用であると思われる。

文 献

- 1) 新井平伊：観察式による痴呆の行動評価 (3). 老年精神医学雑誌, 7 (8) : 924-926 (1996).
- 2) Honigfeld G : NOSIE-30 ; History and current status of its use in pharmacopsychiatric research. *In* Modern problem of pharmacopsychiatry, Vol.7, Psychological measurements in psychopharmacology, ed. by Pichot P, 238, Karger, Basel (1974).
- 3) 音山若穂, 新名理恵, 本間 昭, 真田順子ほか : Clinical Dementia Rating (CDR) 日本語版の評価者間信頼性の検討. 老年精神医学雑誌, 11 (5) : 521-527 (2000).
- 4) Schwartz GE : Development and validation of Geriatric Evaluation by Relatives rating instrument (GERRI). *Psychol Rep*, 53 : 479 (1983).
- 5) Spiegel R, Brunner C, Ermini-Fünfschilling D, Monsch A, et al.: A new behavioral assessment scale for geriatric out- and in-patient ; The NOS GER (Nurses' Observation Scale for Geriatric Patients). *J Am Geriatr Soc*, 39 : 339-347 (1991).

Evaluation of behavior observation scale NOSGER for elderly people with cognitive dysfunction the 1st report

— A consideration of reliability —

Mitsuko Umemoto*¹, Hidetoshi Endo*², Hisayuki Miura*²

* 1 *Nagoya Women's University*

* 2 *National Center For Geriatrics and Gerontology*

The reliability of the Japanese version of the NOSGER was examined. A nurse and a care worker conducted a thirty-item survey of twenty-seven people living in an elderly healthcare facility or a group home for senile people. To review observers' reliability, they assessed Spearman's correlation coefficient, α coefficient, and κ coefficient, which is a statistical measure of inter-rater agreement for qualitative items. The terms of emotions such as "Seems to be in a good mood" and "Feeling hollowed out" had low concordance rates. The concordance rate of "Feeling uneasy at night" was also low. However, the κ coefficients for the other items ranged from moderately high to significantly high rates with 0.296 to 0.686. The coefficients of Spearman's correlation were 0.455 to 0.941. The α coefficients varied from 0.606 to 0.969. Although the Japanese version of the NOSGER seems to admit of some improvement for abstractive survey items, there are high rates of concordance for most of the items examined. These findings suggest that the Japanese NOSGER carries high reliability.

Key words : behavior observation scale, NOSGER, reliability, elderly people with dementia

